



中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」×アサヒ飲料 ～子どもたちの健やかな成長を願い、全国の子ども食堂を応援します！～

社会福祉法人中央共同募金会（会長 清家 篤）は、全国的に取り組むべき社会課題の解決をめざし、さまざまな分野で助成を行う「赤い羽根福祉基金」*1の取り組みのひとつとして、全国47都道府県の共同募金会を通じて、100か所の子ども食堂を支援します。

4年目となる今年も、アサヒ飲料株式会社（代表取締役社長 米女 太一氏）からのご寄付900万円をもとに、子ども食堂の運営にかかる費用（食材費、会場費、調理器具等の購入費、設備費等）を助成します。

また昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、衛生管理のための消耗品の購入費などにも充てられます。

このご寄付は、「三ツ矢」の日（3月28日）・「カルピス」の誕生日（7月7日）に関連する「三ツ矢」ブランド・「カルピス」ブランドの売上の一部をご寄付いただくものです。あわせて、同社からは助成先の子ども食堂に対し、「三ツ矢サイダー」と「カルピスウォーター」が寄贈されます。

さらに、一般社団法人全国食支援活動協力会の協力により、3県において、県内の子ども食堂同士が運営の工夫や情報を交換しあう場となる、ネットワーク構築の費用に対しても助成を行います。

支援対象	支援内容
① 全国100か所の子ども食堂 ※都道府県別内訳別添	・子ども食堂の運営にかかる費用の助成 ・「三ツ矢サイダー」PET500ml「カルピスウォーター」PET500mlを寄贈
② 3県（秋田県、山梨県、長崎県）の子ども食堂ネットワーク構築団体	・県内の子ども食堂どうしのネットワークをつくるための費用（広報活動、イベント経費、会議開催費など）の助成

※「カルピス」はアサヒ飲料株式会社の登録商標です。

中央共同募金会は、これまでも「赤い羽根福祉基金」の助成を通じ、「子ども食堂」に関わる活動を応援してきました。助成の成果もあって「子ども食堂」の件数は年々増加しています（2018年2,286カ所、2019年3,718カ所、2020年4,960カ所。むすびえ調べ）。しかし、その運営には、まだ多くの課題があり、「活動資金や人材などの運営基盤が弱く、継続した活動が難しい」「食物アレルギー対策・衛生管理など運営上の悩みについての相談先が少ない」など、さらなる支援が必要とされています。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動の休止や延期を余儀なくされたり、食事の提供から弁当の配食や食材配布に切り替えるなどして、活動資金が不足する状況も見られています。

アサヒ飲料株式会社からのご寄付により、こうした「子ども食堂」の活動を資金面で応援することで、ひとり親家庭や困窮する家庭、困りごとを抱え孤立しがちな子どもたちの課題解決をめざします。



赤い羽根
福祉基金

*1「赤い羽根福祉基金」は、赤い羽根の中央共同募金会が運営する基金として、2016年に創設されました。公的制度や施策等では対応できていない分野において、社会課題解決のための新たな活動やしぐみを構築する先駆的・モデル的な事業を、資金面で応援することで、誰もが支え・支えられる地域づくりをめざしています。

◆「赤い羽根福祉基金」について <https://www.akaihane.or.jp/kikin/>

(参考)

◆都道府県共同募金会を通じた助成件数一覧

都道府県	助成件数
北海道	2件
青森県	2件
岩手県	2件
宮城県	2件
秋田県	2件
山形県	2件
福島県	2件
茨城県	2件
栃木県	2件
群馬県	2件
埼玉県	2件
千葉県	2件
東京都	4件
神奈川県	2件
新潟県	2件
富山県	2件

都道府県	助成件数
石川県	2件
福井県	2件
山梨県	2件
長野県	2件
岐阜県	2件
静岡県	2件
愛知県	3件
三重県	2件
滋賀県	2件
京都府	2件
大阪府	4件
兵庫県	2件
奈良県	2件
和歌山県	2件
鳥取県	2件
島根県	2件

都道府県	助成件数
岡山県	2件
広島県	2件
山口県	2件
徳島県	2件
香川県	2件
愛媛県	2件
高知県	2件
福岡県	3件
佐賀県	2件
長崎県	2件
熊本県	2件
大分県	2件
宮崎県	2件
鹿児島県	2件
沖縄県	2件
計	100件

<本リリースのダウンロードはこちらから>

<https://bit.ly/3z9HH0T>



<本リリースに関するお問合せ先>

社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部

TEL:03-3581-3846 FAX:03-3581-5755

Eメール: kikin@c.akaihane.or.jp

<https://www.akaihane.or.jp/> (「赤い羽根」で検索)